

令和4年度 学校評価表



学校教育目標	自ら学ぶ 感性豊かな浦崎っ子の育成 ～未来を拓く基盤（根っこ）をつくる～		
a ミッション	「オール浦崎」で取り組むキャリア教育の充実による主体的な学びの実現	b ビジョン	自分への自信と学校への誇り、ふるさとへの愛着を持った児童が育つ、地域・保護者から信頼される学校

尾道市立浦崎小学校

評価計画				自己評価					学校関係者評価			改善計画		
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月		h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	K二次評価			m改善案	
					g 達成値	g 達成値				イ	ロ	ハ		
										コメント				
夢と志を抱きグローバル社会を生き抜く児童・生徒の育成	主体的に学ぶ力の育成	児童・生徒が自ら課題解決するための基礎的・基本的学力の定着（主体的に学ぶ力）	<ul style="list-style-type: none"> 算数科単元末・学年末テスト 知識・技能 85点以上85%以上 各学年のスタンダード「知」の項目達成率 学年末 90%以上 (7月30%以上・1月70%以上・学年末90%以上) 算数科ノート振り返りの記述(理由付き) 80%以上 	85%	88.5%		104%	A	<ul style="list-style-type: none"> 算数科単元については、高学年（5学年→小数わり算、6学年→分数わり算）の達成率が比較的低かった。わり算の習熟を課題ととらえている。 既習内容のスタンダードについては、検定の合格率高く、マス計算、社会・理科、国語基礎が低い。取り組む期間を設定し、合格するまで粘り強く個別に指導を行っている。 振り返りについては、1学年以外は全員にかかせる指導を行い、書かせる内容の研修もしている。2学期以降、内容の進化に努めていく。 	5	2	0	<ul style="list-style-type: none"> 数字については、子供が自分で思うことと先生が見る目と違うかもしれない。浦崎では、児童数も少ないため、一人二人で大きく率が変わってくるので評価の判断が難しいと思います。 目標を持たせて取り組ませることはとても良い。また、達成したことに対しての、賞賛は子供のやる気にも繋がるので今後も続けていってほしい。 何度も繰り返して行うことはとても大事なことである。失敗したことよりも、失敗を生かして次にどうするかを子供達に考えさせてほしい。 	○高学年、中学年を中心に、形成プリント、個別指導等を通して、除法を中心に計算力を高める指導を強化する。 ○スタンダードの取り組みについては、月毎の取り組み期間に集中して取り組み、合格するまで粘り強く個別指導を行っている。 ○ノートの記述については、夏季休業中の研修をもとに、内容の深化に努める。
		授業改善を通して思考力・表現力の育成を図る（思考力・表現力）	<ul style="list-style-type: none"> 浦崎15年連携教育児童アンケート項目3「理由を付けて伝える」児童の割合80%以上 教師の授業評価シート（4段階評価）3以上が70%以上 	80%	79%		99%	B	<ul style="list-style-type: none"> アンケート項目3については、昨年度比+10.1（77.9→88）と向上した。授業者の指導、児童の意識とともにさらに高めていきたい。 教師の授業評価については、今後、児童が主体的に授業に参加できるよう、問いを工夫したり、他の授業者の授業を参考にしたりしながら改善を図る。 	5	2	0	<ul style="list-style-type: none"> 子供達が何を考えればよいのかははっきりする質問をしてほしい。 先生達がお互いに学び合うことはとても良いことである。浦崎の子供達のために、教職員が一校岩になって取り組んでほしい。子供達の成長をお願いしたい。 子供達一人一人が、学びたいという気持ちを持つように楽しい学習を進めて行ってほしい。学ぶことが楽しいと思うことから学習は始まる。 	○アンケート項目3「理由を付けて伝える」については、校内授業研究で情報交換及び共有を行い、指導者、児童の意識をさらに高めていく。 ○教師の授業評価については、今後、児童が主体的に授業に参加できるよう、問いを工夫したり、他の授業者の授業を参考にしたりしながら改善を図る。
		前向きに取り組むことができる自己コントロール力をつける（かかわる力）	<ul style="list-style-type: none"> 浦崎小スタンダード「挨拶・無言掃除」児童の肯定的評価挨拶90%以上・無言掃除90%以上 浦崎15年連携教育児童アンケート「生活」の項目 肯定的評価が90%以上 	90%	91%		101%	A	<ul style="list-style-type: none"> 児童会の挨拶運動の取り組みとして、児童会役員が校門に立ち率先して挨拶運動を行ったことで、他の児童の意欲につながった。 教職員や保護者・地域の方からの声かけや評価が児童の意欲喚起となった。 掃除時間に教師による巡回指導と声かけを行った事で、無言で集中して掃除をする意識が高まったが、目標値に達していないため継続的に取り組んでいく。 学年によって取組の差があったので、具体的な目標や強化週間を設けて取組む。 	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 「自分からすすんで挨拶をする」は100%の達成をお願いします。社会活動の第一歩で、表現力やコミュニケーション力を身につけることに繋がることだと思います。 環境は子供達のとってとても大切なことである。環境が悪いところで学ぶ気持ちも持つことはできない。子供達が、汚れていることが嫌になり、目標数値の達成に向けて組織的に取り組んでいく。きれいにすることが自然とできる子供に育ってほしい。 	○児童会役員が交代するが、引き続き継続的に活動を行い、挨拶の啓発を継続して取り組んでいく。 ○保護者や地域の方の声かけが児童の励みになると考えられることから、引き続き保護者や地域の方の声かけをお願いしていく。 ○児童の委員会活動での肯定的評価を継続して行う。また、生徒指導主事からの助言で重点的に清掃指導を行ったり教職員からの肯定的評価を行ったりすることにより、目標数値の達成に向けて組織的に取り組んでいく。 ○取り組む期間や具体的取り組みを設定して、組織的に取り組む。
	特別活動や行事、園小中連携・地域の人との関わりを通して、互いに関わり合う集団・個人を育てる。（かかわる力）	<ul style="list-style-type: none"> 浦崎15年連携教育児童アンケート「地域」の項目 肯定的評価80%以上 	80%	###		86%	B	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の中地域の行事が減少したこともあり、行事に参加した児童が少なかった。 地域支援ボランティアで5年生の家庭科の裁縫を地域の方に教えていただくことができた。 園小中連携として地震が発生し津波が発生した時を想定して合同避難訓練を行った。また、小中合同運動会を行うことができた。児童はあこがれや優しさ、交流する事への楽しさを味わうことができた。これからも地域の一員であることを意識できるように取り組んでいく。 	4	3	0	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で町の行事もできていない。子供達はとてかわいそうである。各地域で、できることから少しずつ復活していけるとよい。 浦崎地域学校運営協議会が始まり、地域との架け橋になればよいと思っている。学校からこんなことがしたいという声を上げてほしい。できるだけ応援をしていきたい。支援ではなく協同に変えていきたい。 	○コロナ対策を万全にししながら、どのような形で実施できるかという観点で行事を考え、地域の方への無理のない範囲での協力を依頼していく。 ○五年生家庭科でのボランティアについては、本協議会でお声かけいただいたことを実現できた。今後とも、可能な場面でのボランティア、ご協力の依頼を学校へ発信し、地域の人材活用を推進していく。 ○児童と園、中との交流については、これからも地域の一員であることを意識できるよう、取り組みの内容を考え、実践していく。	

【自己評価 評価】
A：100≦（目標達成）
B：80≦（ほぼ達成）＜100
C：60≦（もう少し）＜80
D：（できていない）＜60